



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 極東開発工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7226 URL http://www.kyokuto.com/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 和也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 吉田 豊 TEL 0798-66-1000  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	84,635	5.5	5,312	3.0	5,521	2.3	3,882	6.9
2019年3月期第3四半期	80,246	△1.1	5,158	△27.9	5,396	△27.7	3,631	△30.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,759百万円 (103.5%) 2019年3月期第3四半期 1,847百万円 (△74.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	97.74	—
2019年3月期第3四半期	91.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	136,479	92,737	67.7
2019年3月期	138,878	90,857	64.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 92,353百万円 2019年3月期 90,157百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,500	2.8	7,800	△8.8	7,900	△10.4	5,500	△12.5	138.45

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）Trex Thairung Co., Ltd.

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	42,737,668株	2019年3月期	42,737,668株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,011,207株	2019年3月期	3,010,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	39,726,636株	2019年3月期3Q	39,727,475株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により実際の業績が予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資の増加基調など、内需が底堅く推移した一方で、2019年10月1日の消費増税による消費者マインドの変化や、米中貿易摩擦の長期化をはじめとする不安定な世界経済の情勢により、輸出や生産の一部に足踏みも見られました。

このような状況下、当社グループは新中期経営計画（3カ年計画）2019-21 ～To the Growth Cycle～（2019年4月1日～2022年3月31日）の初年度として、企業品質の向上及び社会的価値の深化を図るべく、諸施策を実施しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は前年同期と比較して、売上高は4,388百万円（5.5%）増加して84,635百万円となりました。営業利益は153百万円（3.0%）増加して5,312百万円、経常利益は124百万円

（2.3%）増加して5,521百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は250百万円（6.9%）増加して3,882百万円となりました。

次に連結ベースでのセグメント別の概要を前年同期と比較してご説明申し上げます。

#### ①特装車事業

国内においては、引き続き堅調な需要を取り込むべく受注確保を図りました。また、連結子会社の日本トレクスで新たに取得した御津工場におけるスワップボデー車や、当社名古屋工場の新パワーゲートセンターにおける2019年6月にモデルチェンジした後部格納式テールゲートリフタ「パワーゲート。GⅡ1000 / GⅢ1000」の生産強化をはじめとして、製品供給体制の合理化及び効率化に努めました。

新製品としては、2019年10月に2t車級回転板式ごみ収集車「パックマン・チルト」をフルモデルチェンジし、当社新型ごみ収集車の基本ラインナップを完成させました。さらに同月にはスクイーズ式コンクリートポンプ車として国内最長・最強スペックとなる「“Hyper CP” スクイーズクリート・PH80A-26C」を発売するなど、商品力及び製品ラインナップの強化も図りました。

当セグメントの売上高は4,447百万円（6.5%）増加して72,545百万円となりました。営業利益は380百万円（10.2%）増加して4,104百万円となりました。

#### ②環境事業

プラント建設では、2019年6月に宮城県の大崎地域広域行政事務組合様より受注したリサイクルセンターが完成したほか、現在建設を進めている受注済みプラントにつきましても、竣工に向け工事を進めました。

また、メンテナンス・運転受託などのストックビジネスにも引き続き注力しました。

バイオガスプラント事業においては、DOWAグループのバイオディーゼル岡山株式会社様より受注した、岡山市のバイオマス発電施設建設工事の準備を進める一方、更なる受注を目指して活動を行いました。

当セグメントの売上高は408百万円（5.4%）減少して7,161百万円となりました。営業利益は207百万円（17.6%）減少して971百万円となりました。

#### ③不動産賃貸等事業

立体駐車装置はリニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスへの注力と共に、新規物件の受注活動に努めました。コインパーキングは採算性重視の事業地展開を進めたほか、京都府木津川市様より受注した市営駐車場6か所の運営体制を整備しました。

当セグメントの売上高は318百万円（6.4%）増加して5,328百万円となりました。営業利益は10百万円（1.2%）増加して846百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は2,398百万円(1.7%)減少して136,479百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金の減少等により991百万円(1.2%)減少して79,766百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の減少等により1,406百万円(2.4%)減少して56,713百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は短期借入金及び未払法人税等の減少等により4,149百万円(10.2%)減少して36,722百万円、固定負債は長期借入金の返済等により128百万円(1.8%)減少して7,020百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと等により1,880百万円(2.1%)増加して92,737百万円となりました。

なお、自己資本比率は67.7%(前連結会計年度末64.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、現時点では概ね公表値どおりに進捗しているため、2019年11月7日に公表いたしました業績予想の修正は行いません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,583	8,871
受取手形及び売掛金	43,616	37,126
有価証券	9,133	10,786
商品及び製品	1,198	2,053
仕掛品	5,560	7,426
原材料及び貯蔵品	9,177	10,268
前払費用	510	591
その他	1,045	2,697
貸倒引当金	△67	△56
流動資産合計	80,757	79,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,479	11,383
機械装置及び運搬具(純額)	5,567	5,355
土地	20,564	20,351
建設仮勘定	166	665
その他(純額)	1,395	1,089
有形固定資産合計	39,174	38,844
無形固定資産		
その他	706	808
無形固定資産合計	706	808
投資その他の資産		
投資有価証券	15,990	14,668
長期前払費用	259	206
繰延税金資産	271	271
その他	2,427	2,621
貸倒引当金	△710	△707
投資その他の資産合計	18,239	17,059
固定資産合計	58,120	56,713
資産合計	138,878	136,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,373	14,855
電子記録債務	10,225	12,766
短期借入金	2,938	1,550
1年内返済予定の長期借入金	600	637
未払法人税等	2,058	252
未払消費税等	1,100	650
未払費用	4,319	2,334
引当金	1,187	2,127
その他	1,067	1,547
流動負債合計	40,871	36,722
固定負債		
社債	—	50
長期借入金	600	364
長期預り保証金	2,090	1,917
退職給付に係る負債	780	608
引当金	140	159
繰延税金負債	2,742	3,215
その他	795	703
固定負債合計	7,149	7,020
負債合計	48,020	43,742
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,899	11,899
資本剰余金	11,718	11,679
利益剰余金	64,279	66,542
自己株式	△2,152	△2,153
株主資本合計	85,745	87,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,878	4,726
為替換算調整勘定	△3	52
退職給付に係る調整累計額	△462	△393
その他の包括利益累計額合計	4,412	4,385
非支配株主持分	699	383
純資産合計	90,857	92,737
負債純資産合計	138,878	136,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	80,246	84,635
売上原価	64,828	68,735
売上総利益	15,418	15,900
販売費及び一般管理費	10,259	10,587
営業利益	5,158	5,312
営業外収益		
受取利息及び配当金	339	350
為替差益	2	—
雑収入	117	135
営業外収益合計	459	486
営業外費用		
支払利息	72	40
持分法による投資損失	89	123
為替差損	—	43
雑支出	60	69
営業外費用合計	221	277
経常利益	5,396	5,521
特別利益		
固定資産売却益	9	17
投資有価証券売却益	3	694
その他	0	0
特別利益合計	13	712
特別損失		
固定資産処分損	27	41
関係会社株式売却損	—	601
災害による損失	20	8
その他	—	14
特別損失合計	47	665
税金等調整前四半期純利益	5,363	5,568
法人税等	1,894	1,774
四半期純利益	3,469	3,793
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△162	△89
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,631	3,882



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,469	3,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,614	△151
為替換算調整勘定	△63	36
退職給付に係る調整額	52	69
持分法適用会社に対する持分相当額	3	11
その他の包括利益合計	△1,621	△33
四半期包括利益	1,847	3,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,047	3,850
非支配株主に係る四半期包括利益	△199	△90

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

重要な連結子会社以外の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったTrex Thairung Co., Ltd.の株式を全て売却したことにより、Trex Thairung Co., Ltd.は当社の特定子会社に該当しないこととなり、第2四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	68,088	7,568	4,589	80,246	—	80,246
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	1	420	432	△432	—
計	68,098	7,569	5,010	80,678	△432	80,246
セグメント利益	3,723	1,178	835	5,738	△579	5,158

(注) 1 セグメント利益の調整額△579百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△583百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特装車事業	環境事業	不動産賃貸等 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	72,538	7,159	4,937	84,635	—	84,635
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	1	391	400	△400	—
計	72,545	7,161	5,328	85,035	△400	84,635
セグメント利益	4,104	971	846	5,921	△609	5,312

(注) 1 セグメント利益の調整額△609百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△615百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。